

かせ 風にむかって

■ 楽曲データ

歌詞：山本有希子 作詞

楽曲：山本有希子 作曲

発表：勤式・仏教音楽研究所 2003年

初演：—

初出：『秋の法要2004御堂演奏会楽譜』 本願寺出版社 2004年

管理番号：M0598

■ 創作の経緯

子ども向けの仏教讃歌として、勤式・仏教音楽研究所が制作。

■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集 こども編』第1巻収録

底資料：作曲者自筆譜

比較資料：—

校訂の詳細：特になし

■ 解説

《風にむかって》は、子ども向けの明るく楽しい仏教讃歌です。子ども達の何気ない毎日も、阿弥陀さまがいつもお守りくださっているおかげ、と分かりやすい言葉で綴られています。作詞・作曲は、勤式・仏教音楽研究所（現：浄土真宗本願寺派総合研究所 仏教音楽・儀礼研究室）常任研究員〔当時〕の山本有希子が担当しました。

◆ 演奏のヒント

- ①「元気よく」と指示があります。この曲の持ち味を活かして、軽やかに歌えるテンポを探してみましょう。
- ②歌詞をきちんと伝えるために、はっきり発音する練習をしましょう。特に前半（5～12小節目）は、連続する8分音符が重くならないように。
- ③6小節目3拍目の8分音符は軽く歌ってフレーズを切り上げ、8分休符で次の歌いだしを準備しましょう。8小節目、11小節目なども同様です。
- ④「なみだ」という歌詞を受けて、12小節目後半から一時的に転調して短調になります。メゾピアノ（やや弱く）で、レガート（なめらかに）に歌いましょう。ただし、遅れないように。

⑥15小節目の「よろこび」という歌詞で、長調に戻ります。続く16小節目4拍目以降は、フォルテ（強く）で元気よく。

⑦17小節目1拍目の「レ#」と2拍目裏の「レ」、18小節目「ソ#」と19小節目「ソ」の違いに気を付けましょう。

◆音源

CD『日々のうた——念仏』に収録されています。

解説執筆：山口篤子（本願寺仏教音楽・儀礼研究所 [現：浄土真宗本願寺派総合研究所仏教音楽・儀礼研究室] 研究助手）

※本解説は、「メロディーの宝石箱」No. 64（仏教婦人会総連盟機関誌『めぐみ』第191号収録）を加筆・修正のうえ、転載。

Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.